

◆今年は素人繪が尠い

— 洋畫部主任

◇ 黒田清輝氏談

洋畫の出品點數が昨年よりも減じたのは點數を制限したからだだが、出品人數は増えてゐる、で其結果として

△ 小さい繪が 少くなつたのと、素人繪の少くなつたことが目に付いた、昨年あたりまでは一枚位は附たりのものを出した傾きがあつたがそれが無くなり、素人らしい繪も斯んなものを出してはとの反省が加はつたか餘り見なかつた、之は進歩の一證と云つてよい、然し大体にそれほど進歩しながら入選は之に反して減じた、と云ふのは審査員も△ 一般の標準 に促されて鑑別の水準を上げたからで、その結果、例年に比して拙い繪の尠くなつたことは蓋を開けて見れば分る。繪としての喜ぶ可き傾向はスケッチ風の手輕なものが尠くなり、かう云ふ繪を描いて見やうとの主張的の氣持のある者、或る描方に幾年もの工夫を積んで熟達した者が多くなり順つて多く入つてゐる、また△ 流派と云ふ ものには我々審査員は一方に之を留意せぬ態度を取り、一方には特に深くその特色を見逃さぬやうにしてゐる、で入選したものには、作畫の目的に於て異なるものが大分あるが之れも技術の或る程度以上に進んだと認められるものを取つた、裸體畫の出品も可なりあつたが、これは中々六つかしいもので、遺憾乍ら賛成出來ぬものが多かつた

△ 女の出品も 相當にあつたやうだが、特に目に立つやうな出來榮えを示してゐなかつた、唯有馬氏だけが出來榮えを示してゐたと思ふ』云々

『読売新聞』大正六年二〇月二日